

日本細菌学会の皆様、

下記のように、来る3月5日土曜日に筑波大学 計算科学研究センターにおきまして、細菌を含め生物界における共生・寄生現象に焦点を当てた共生・寄生生物学シンポジウムを開催いたします。

これには9月に予定しております日本共生・寄生生物学会(仮)発足のプレキックオフシンポジウムとしての意味あいもございます。より幅広い方々にご参加いただきたく、共生・寄生現象に興味をお持ちの先生方には参加をご検討いただけますようお願い申し上げます。

共生・寄生生物学シンポジウム

日時：3月5日（土）13時～（18時より総合討論）

場所：筑波大学 計算科学研究センター ワークショップ室

演者・演題

「偶然による病原体 レジオネラ」

永井宏樹（大阪大学 微生物病研究所）

「ミドリゾウリムシの細胞内共生における共生藻の単純な維持モデル」

岩井草介（弘前大学 教育学部）

「宿主細胞と共生細胞の分裂同調化によるオルガネラ成立機構」

宮城島 進也（国立遺伝学研究所）

「赤痢アメーバにおけるミトコンドリアの進化」

野崎智義（国立感染症研究所）

「アーバスキュラー菌根菌 — 4億年にわたる植物共生機構の解明に向けて—」

川口 正代司（基礎生物学研究所）

「ハマウツボ科寄生植物の寄生戦略」

吉田聡子（理化学研究所）

18:00～ 総合討論（筑波大学 第2エリア食堂、3～4千円（予定））

なお、情報はHP (<http://symbpara.matryoshka-evolution.jp/>) にて随時アップデートしていく予定です。

参加ご希望の方は、下記のURLにアクセスいただき、2/15（月）までにご登録していただければ幸いです。

（総合討論会場の予約のため。講演会のみ参加費は無料）

https://docs.google.com/forms/d/1UQ0S0mith0JYZx0E1UE_0aJ2GRWs9MsaDeRyq8iGpH8/viewform?c=0&w=1

（クリックしてもエラーになる場合には、URLをコピーペーストして下さい。）

大阪大学・微生物病研究所・感染症国際研究センター・永井グループ
准教授 永井宏樹